

和歌山県中小企業振興条例第14条第2項の規定に基づき、令和7年度における中小企業に関する施策の実施状況について、次のとおり報告いたします。

1 中小企業の振興に対する考え方

令和7年度の日本経済は、米国の関税引上げの影響を受けつつも、景気は緩やかに回復していたが、2月末に米国とイスラエルがイランに対して行った軍事攻撃を発端に、ホルムズ海峡を通じた海上物流が滞るなど、中東情勢を巡る混乱は世界的な影響を及ぼしている。

この混乱が長期化した場合、原油や石油製品の価格上昇、供給の偏りや流通の目詰まりなど、企業業績や生産活動への影響が懸念される。加えて、円安の影響、賃上げに伴う人件費増加や人手不足が懸念されており、日本経済全体が抱える課題への対応が求められている。

地域経済と雇用を守っていくためには、県内企業の大多数を占め、地域経済の主たる担い手である中小企業の経済活動を活性化し、本県経済の持続的な成長へとつなげていくことが重要である。

県においては、優れた県産品を厳選し、認定、推奨する制度「和歌山一番星アワード」による初の認定を行い県産品の販売促進及びブランド化を図るとともに、地域の課題を抱える自治体とスタートアップ企業や地域の企業とのマッチングを行い、これらの課題解決と経済収益の両立を目指す企業に対し、先輩起業家との交流機会や事業加速プログラムを提供するなどの成長支援を行った。加えて、県内中小企業等のデジタル化、脱炭素化の推進に引き続き取り組んだ。

令和8年度においては、県経済の中核となる新たな「100億企業」、「中堅企業」の輩出に向け、高度な経営診断とそれに基づく経営課題・重点推進分野の可視化、支援人材とのマッチング等を通し、成長戦略策定を中心とした企業の経営力強化に資する伴走支援を実施していく。

また、雇用人材の確保については、外国人材の県内企業への就職と定着を促進するため、サポートデスクによる相談対応やジョブフェアへの出展などを実施するほか、高校生の県内就職を促進するための応募前企業ガイダンスや、UIターン就職を促進するための合同企業説明会を開催するなど、引き続き人材の確保に取り組んでいく。

さらに、国の重点支援地方交付金を活用し、「わかやま賃上げ環境整備支援パッケージ」と銘打ち、持続的な賃上げに向けた、省力化や業務効率化などの生産性向上のために行う設備投資等への補助や助成金の支給、適正な価格転嫁を進めていくための伴走支援など、県内中小企業者への支援を実施していく。

2 具体的な施策の実施状況について

(1) 経営革新の促進及び経営基盤の強化

①DX推進（64,900千円）【企業振興課】

県内企業のDX推進に向け、DXセミナーの開催による機運醸成をはじめ、デジタル経営診断による現状把握、技術習得のための各種講座、システム導入への助成など、一貫した支援を実施。

○デジタル経営診断

デジタル化の実践状況や取り組むべき指針等を提示する診断ツールを活用したデジタル経営診断を実施

<令和7年度実績>

185事業者

○DXセミナー

県内事業者のデジタル化・DXに関する機運醸成のためのセミナーを開催

<令和7年度実績>

セミナーの開催回数：5回

相談件数：210件

○DX推進講習

各事業者がデジタル技術に関する知識を習得するため、入門レベル～実用レベルの各種講習を開催

<令和7年度実績>

・デジタルリテラシー・デジタルスキル標準習得講習

受講期間 令和7年9月1日～令和8年1月31日

・RPA講習

受講期間 第1回 令和7年8月29日

第2回 令和7年12月9日

・アプリ開発講習

受講期間 令和7年9月18日～令和7年9月19日

・現場カイゼン講習

受講期間 令和7年6月27日～令和7年12月19日

・生成AI活用講習

受講期間 令和7年10月24日

・生成AI実践講習

受講期間 第1回 令和7年11月14日

第2回 令和7年11月28日

○DXチャレンジサポートプログラム

DXに対し意欲のある県内事業者を対象に、高度専門人材による長期的な伴走支

援を実施。伴走支援によりDXの成功事例を創出して情報発信

<令和7年度実績>

伴走支援件数：4件

○デジタル専門家派遣

デジタル技術の知見に長けた支援チームを形成して県内企業に派遣し、課題の見える化及び課題の解決策を提示することにより、県内企業におけるデジタル技術の導入を促進

<令和7年度実績>

支援件数：12件

②成長産業オープンイノベーション推進（19,982千円）

【成長産業推進課】

県内企業が成長産業分野でのビジネス創出を行うため、セミナーから実証までの一貫した新規事業開発プログラムを実施。

○キックオフイベントの開催

オープンイノベーションを実行することにより、自社だけでは生み出せない革新的で新しい価値を創り出せるということを知るための場を提供

<令和7年度実績>

1回開催 80名参加

○セミナー・ワークショップの開催

オープンイノベーションの手法を学ぶ場を提供

<令和7年度実績>

セミナー（自由参加）3回開催 延べ118名参加

ワークショップ（伴走支援企業対象）3回開催

○協業先とのマッチング

大企業やスタートアップ等異なる技術やノウハウを持つ企業とのマッチングの場を提供

<令和7年度実績>

3回のワークショップ等を通じてプログラム参加全社がそれぞれの事業案について、意見交換（マッチング）を実施。それに加えて、既存プラットフォームや伴走支援事業者からの情報を利用することで、プログラム参加13社に対して外部企業とのマッチングの機会を提供

○伴走支援

経験豊富なアドバイザーによる協業先との事業計画策定やプロトタイプ製作、実証等の段階に応じた伴走支援を実施

<令和7年度実績>

支援件数：20件

③脱炭素経営モデル推進支援（1,700千円）【成長産業推進課】

県内中小企業等の脱炭素化を促進すべく、脱炭素経営に向けた取組を業種や規模によって異なるニーズに合わせてオーダーメイド型の支援を実施。

○和歌山県脱炭素経営に向けた計画策定支援事業費補助金

県内企業が行うCO₂排出量の算定・省エネ診断の実施から、CO₂排出量削減目標を盛り込んだ計画等の策定に至るまでに要する経費の一部を補助

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：1/2以内）
- ・補助する額：最大100万円/件

<令和7年度実績>

交付確定件数：7件

④デザイン経営価値共創支援（19,998千円）【企業振興課】

デザイン経営の手法を用いて、県内中小企業の企業価値・商品価値の向上を支援。

○キックオフイベントの開催

デザイン経営を実行することが企業の価値向上に繋がることを学ぶ場を提供

<令和7年度実績>

開催日：令和7年6月25日

開催場所：和歌山城ホール/オンライン

参加者：93名

○セミナーの開催

デザイン経営の手法を学ぶ場を提供

<令和7年度実績>

開催日：令和7年7月7日、10日、18日、25日、8月1日

開催場所：和歌山城ホール/オンライン

参加者（延べ）：76名

○デザイナーとのマッチング

価値を具現化するために必要なデザイナーとのマッチングの場を提供

<令和7年度実績>

開催日：令和7年8月22日

開催場所：和歌山西コミュニティセンター

参加者：事業者 8社

デザイナー 5名

ビジネスパーソン 6名

○ワークショップの開催

デザイナーと協働したデザイン経営を自社に導入するための計画づくりの実施

<令和7年度実績>

ワークショップ開催回数：9回

参加事業者：8社

○ハンズオン支援

ハイレベルなアドバイザーによるフォローアップ、個別支援・プロデュースの実施

<令和7年度実績>

支援期間：令和7年11月～令和8年3月

支援件数：8件

○デザイン経営プロデューサー養成

デザイン経営実践プロジェクトを立ち上げ、事業者をプロデュースできる人材（デザインプロデューサー）の養成に向けワークショップ等を実施

<令和7年度実績>

ワークショップ開催回数：6回

参加支援者数（延べ）：75名

⑤中小企業支援センター（31,213千円）【企業振興課】

（公財）わかやま産業振興財団内に産学官の連携による総合的な中小企業支援体制を整備し、新事業創出及び経営革新を支援。

○専門家設置

企業の創業・経営を支援する起業コーディネーターを配置

<令和7年度実績>

起業コーディネーター：1名

○専門家派遣

経営革新、新商品開発、新分野進出等を目指す企業に対し、専門家を派遣

<令和7年度実績>
専門家派遣件数：125回

○取引あっせん

- ・中小企業の経営安定と振興を図るため、受発注情報の収集や取引のあっせんを実施
- ・県内企業と県外企業との商談の場を提供することにより、中小企業等の取引拡大を支援

<令和7年度実績>
取引あっせん件数：86件
商談会の開催件数：2回

⑥小規模事業経営支援（1,364,607千円）【商工振興課】

小規模事業者の振興と経営の安定を図るため、商工会、商工会議所及び県商工会連合会に経営指導員等を配置し、経営改善普及事業等を実施。

⑦中小企業団体支援（113,428千円）【商工振興課】

県中小企業団体中央会に指導員等を配置し、協同組合等の組織化促進指導、人材養成、情報化、販路開拓等を推進。

(2) 製品開発及び販路開拓の支援

①わかやま中小企業元気ファンド（57,000千円程度※）【企業振興課】

※運用益及び県補助金を含む

中小企業者等が地域資源を活用して行う新商品・新サービスの開発、販路開拓等を支援。

○地域資源活用分野

「地域資源（農林水産物、産地の技術、観光資源）」を活用した新商品・新サービスの開発、販路開拓等事業化を支援し、新「わかやまブランド」を創出

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：2/3以内）
- ・補助する額：最大600万円/件

<令和7年度実績>
交付確定件数：11件

②わかやま農商工連携ファンド（57,000千円程度※）【企業振興課】

※わかやま中小企業元気ファンドと一体運用

農林漁業者・中小企業者等との連携を活かした新商品・新サービスの開発を支援。

○農商工連携分野

農林漁業者と中小企業者等が連携（農商工連携）し、それぞれの経営資源（技術・知識・ノウハウ等）を有効活用して行う新商品・サービスの開発、販路開拓等を支援し、「わかやまブランド」「新たな産業」を創出

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：2／3以内）
- ・補助する額：最大300万円／件

<令和7年度実績>

交付確定件数：2件

③先駆的産業技術研究開発支援（113,671千円）【成長産業推進課】

県内企業等が有するシーズをもとに先端的産業分野で全国や海外に進出する意欲的な研究開発や実用化に向けた実証実験を支援。

○県内企業が、市場に投入することを前提とした技術を確立するための研究開発、試作品の評価等に対して支援

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：2／3以内）
- ・補助する額：最大2,000万円／件
- ・補助対象期間：最長3年

<令和7年度実績>

採択事業者：16社

④和歌山産品販促支援（89,933千円）【企業振興課】

県内企業が持つ商品力や技術力を積極的に売り出すために行う国内外の著名な展示会への集団出展等の販促活動を支援。

○海外販売戦略

- ・海外へ向けたビジネス展開支援
- ・業界・出展地域を絞った著名な海外展示会への集団出展支援
- ・ラグジュアリー市場を対象とした販路開拓支援

<令和7年度実績>

ベトナムへのビジネスミッション：5社

タイへのビジネスミッション：7社

インドへのビジネスミッション：7社

海外展示会個別出展支援事業者数：10社

ラグジュアリー市場販路開拓支援：2社

○国内販売戦略

- ・展示会・商談会を見据えた商談効果アップ等を支援
- ・国内の専門展示会への集団・個別出展支援
- ・商談会の開催

<令和7年度実績>

国内展示会集団出展支援事業者数：35社

国内展示会個別出展支援事業者数：18社

産品商談会開催日：令和7年11月20日（アバローム紀の国）

⑤県産品振興（41,809千円）【企業振興課】

県産品の販売促進及びブランド化を図るため、新たな県産品推奨制度「和歌山一番星アワード」を実施するとともに、過去に認定した優良県産品を推奨。

<令和7年度実績>

○認定

新規認定：20商品（20事業者）

○PR活動（イベントの開催）

実施日：令和8年2月20日

場 所：東郷記念館（東京都）

来場者：約90名

○PR活動（SNS情報発信）

媒 体：Instagram、Facebook での情報発信

効 果：11,309名のフォロワー獲得（約7,800名のフォロワー増加）

○販路開拓支援（展示会への集団出展）

インバウンド向けグッズEXPO夏

実施日：令和7年7月2日～4日

場 所：東京ビッグサイト

出展者：10社

⑥わかやま産品魅力再発見（8,410千円）【企業振興課】

県産品のブランド力向上と販路拡大のため、事業者向けのデザインアドバイザー講義とワークショップ、商品のブラッシュアップやオンラインギフトショップでの販売及びプロモーションを実施。

<令和7年度実績>

採択事業者数：10者（食品5社、非食品5社）

⑦ジェトロ和歌山貿易情報センター運営（16,000千円）【企業振興課】

県内企業の海外ビジネス展開を支援するため、日本貿易振興機構（ジェトロ）の和歌山貿易情報センターの運営に係る経費の一部を負担。

⑧中小企業支援センター（31,213千円）＜再掲＞【企業振興課】

⑨中小企業団体支援（113,428千円）＜再掲＞【商工振興課】

(3) 創業及び新たな事業の創出の促進

①地域課題解決型起業支援（69,937千円）【企業振興課】

地域課題解決を目的として起業する者に対して、起業に要する資金の支援や起業に必要な知識やノウハウ等を学ぶセミナー開催等の伴走支援とともに、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによる資金調達を支援。

○わかやま地域課題解決型起業支援補助金

地域課題解決型のビジネスをデジタル技術を活用して起業(事業承継・第二創業)する者に対し、必要な資金(人件費、設備費等)を補助

- ・対象事業費の一部を補助(補助率:1/2以内)
- ・補助する額:最大200万円/件

＜令和7年度実績＞

交付確定件数:30件

○わかやま創業スクール

県内で新たに起業を予定している者に対し、起業に必要な知識やノウハウ等を学ぶワークショップ主体のセミナーを開催

＜令和7年度実績＞

受講者数:20名

○和歌山県ふるさと納税型クラウドファンディング事業

わかやま地域課題解決型起業支援補助金の採択者のうち希望する者に対して、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによる資金調達を支援

＜令和7年度実績＞

3プロジェクトが目標金額達成

寄付総額:2,855千円(※目標金額:2,400千円)

②社会課題解決型企业創出支援(26,177千円)【企業振興課】

県内自治体の社会課題とスタートアップとのマッチングを行い、社会課題解決に資する起業家を誘致し、社会課題解決に資するビジネスプラン創出や、ローカルゼブラ起業創出、新事業開発を支援するとともに、若年層への起業家教育、次世代の育成につながる探究学習取り組み支援。

○アントレプレナーシップ教育

中高生向けのアントレプレナーシップ教育プログラムを開催するほか、アントレプレナーシップ教育アドバイザーによる指導者向けの勉強会などを開催

<令和7年度実績>

通常編受講者数：27名

上級編受講者数：5名

○社会課題解決企業支援

地域の課題を明らかにするとともに、ビジネスにつなげられるようマッチングおよび事業化支援を実施

<令和7年度実績>

連続講座受講市町村：8自治体

官民共創カンファレンス：登壇3自治体、参加者45名

○ローカル・ゼブラ企業成長ネットワーク

経営者や創業を志す者が、ローカル・ゼブラ企業の先進的な取り組みや方法論などを学び合い、先輩起業家とのネットワーキングを通し、創業・成長への行動に繋げる

<令和7年度実績>

・ローカルゼブラ・セッション

令和7年6月から令和8年3月まで計10回開催し、延べ262名が参加

・アクセラレーションプログラム

6事業者を支援

③GXビジネスモデル創出（34,427千円）【成長産業推進課】

県内企業のGXビジネスモデルを創出するため、地域のポテンシャル調査及びビジネスモデル構築、実証並びに伴走支援を実施。

○家庭用使用済み天ぷら油回収実証

家庭用の使用済み天ぷら油を回収し、CO₂削減効果の高い燃料等へと利活用する仕組みの構築を目指し、実証事業を実施

<令和7年度実績>

・モニター登録者数：4,227名（令和7年5月末をもって登録受付終了）

・田辺市内、橋本市内及び熊野白浜リゾート空港に回収拠点を設置
設置箇所数：合計61か所（令和8年3月末時点）

・令和7年度回収量実績：24092.6リットル（令和8年3月末時点）

○GXビジネスモデル創出

・県内にGXビジネスを創出するため、県内企業向けにGXについての学び・

実践の場の提供、個別のプッシュ型支援を実施

<令和7年度実績>

1. キックオフイベント

- ・開催日：令和7年7月9日
- ・参加：56社

2. GXセミナー（計7回）

- ・開催日：令和7年9月1日、10月6日、11月10日、12月1日、令和8年1月19日、2月18日、3月24日
- ・参加：89社（延べ）

3. 県内中核企業重点意見交換会

- ・開催日：令和7年10月9日
- ・参加：5社
- ・概要：県外事例を参考にGXや脱炭素の取り組みの成功の要諦を知る機会や、和歌山県内の企業同士で課題を共有する場を創出

4. 個別プッシュ型支援

- ・16社（訪問企業計31社）
- ・個社の状況や課題に応じて、脱炭素経営・GXビジネス創出に向けた個別プッシュ型の支援を実施

- ・地域の脱炭素経営支援を強化するため、支援機関ネットワークを整備

<令和7年度実績>

- ・経済産業省の「令和7年度 中小企業に対する支援機関等のGX支援体制強化事業」に採択
- ・地域支援機関（金融機関、商工団体等）が「GXを切り口とした経営課題解決提案の実践力を高める」コースの研修を受講

④宇宙まちづくり推進（36,676千円）【成長産業推進課】

県内で宇宙産業の集積を図るため、行動計画の策定や県内企業の宇宙産業参入を目的としたビジネス創出支援、教育機関と連携した産業人材育成等を実施。

○ポテンシャル調査

- ・宇宙産業のサプライチェーンを県内に構築するため、県内特に紀南地域における産業集積の可能性調査及びそれに基づく県や自治体、各機関の行動計画を整理

<令和7年度実績>

- ・県内への宇宙産業集積の可能性を探る適地調査を実施し、調査結果を踏まえ、産業集積に向けた課題の把握及び行動計画を整理

○ビジネス創出

- ・県内企業によるロケット・衛星への部品供給や衛星データ利活用サービスの提供の実現を目指し、セミナーやワークショップ、伴走支援を実施
＜令和7年度実績＞

1. キックオフイベント

- ・開催日 : 令和7年6月12日
- ・参加者数 : 205名 (現地79名、オンライン126名)

2. セミナー

- ・開催日 : 令和7年6月～8月 (全10回開催)
- ・参加者数 : 延べ519名 (全10回)

3. ワークショップ

- ・開催日 : 令和7年9月～令和8年3月 (3テーマ×3回開催)
- ・参加企業数 : 31社

4. 伴走支援

- ・開催日 : 令和7年12月～令和8年3月 (随時)
- ・支援件数 : 9件

○人材創出

- ・県内の教育機関と連携し、学生に対して、宇宙産業に関する学びの場や宇宙関連企業との交流の場を提供
＜令和7年度実績＞
 - ・宇宙に関する教育プログラムの実施に向け、県内の工業系高校の教員を対象に、宇宙関連の企業視察及びオンラインセミナーを実施

⑤DX推進 (64, 900千円) <再掲> 【企業振興課】

⑥成長産業オープンイノベーション推進 (19, 982千円) <再掲>
【成長産業推進課】

⑦中小企業支援センター (31, 213千円) <再掲> 【企業振興課】

⑧小規模事業経営支援 (1, 364, 607千円) <再掲> 【商工振興課】

(4) 事業活動を担う人材の育成及び確保

①外国人材受入促進 (27, 523千円) 【労働政策課】

外国人材の県内企業への就職率・定着率の向上を図るため、外国人材が安定的に雇用される受入体制 (プラットフォーム) を構築。

- 外国人材が安心して働ける環境整備事業補助金
外国人を雇用する企業の受入れ環境整備にかかる費用を補助。
対象事業：（１）就業環境整備（２）生活環境整備
・対象事業費の一部を補助（補助率1／3以内）
・補助する額：最大30万円
＜令和7年度実績＞
交付確定件数：15件
申請内容例：冷蔵庫・洗濯機などの家具・家電購入、自転車の購入、日本語学習教材の購入、事務所への礼拝スペース整備等
- WAKAYAMA外国人材雇用サポートデスク【外国人材雇用のワンストップ窓口】
（企業向け支援）
・外国人材の採用・雇用に関する相談対応・手続支援
・外国人材の雇用に関するセミナーやオンライン合同企業説明会等の開催
・成功報酬型マッチング支援（県と人材紹介会社との連携協定）
（外国人向け支援）
・就職活動に関する相談対応・手続支援
・書類添削・面接トレーニング
・就職支援セミナー、オンライン合同企業説明会の開催
・国内国外に在住する外国人向け情報発信
＜令和7年度実績＞
・企業からの相談82件
・外国人からの相談381件
- 海外とのインターンシップ制度の構築に向けた検討
海外と県内企業とのインターンシップ制度構築に向け情報交換や交渉を実施
＜令和7年度実績＞
自動車整備分野において、ベトナムからのインターンシップ生受入れに向けて調整。

- ②産業を支える人づくりプロジェクト（19,363千円）【労働政策課】
応募前企業ガイダンスの開催や企業ガイドブック作成を通じて県内企業の積極的な情報発信を行うことにより、高校生の県内への就職を促進。

- 高校生の県内就職を促進
・応募前企業ガイダンスの開催
・企業ガイドブックにより県内就職のメリット、県内企業の魅力を発信

- ・各工業高校単位での企業説明会の開催により就職活動を支援
- <令和7年度実績>
- ・応募前企業ガイダンス
- 期 間：令和7年5月～6月
- 開催回数：和歌山市、伊都、紀中、紀南の各地区において年1回開催
- 参加企業数：延べ465社 参加生徒数：1,464人

③わかやまUIターン就職促進（74,503千円）【労働政策課】

和歌山での就職を支援する拠点を設置し、県内外から産業人材を呼び込むため、大学生・第二新卒者・既卒未就業者、転職希望者等の県内就職を促進。

- 県内就職を支援する拠点「わかやま就職支援センター（通称：はたらコーデわかやま）」の運営
 - ・専門相談員による相談対応・就職支援
 - ・各種セミナーの開催
 - ・インターンシップ（転職希望者向け・学生向け）の実施
 - ・ウェブサイト・SNS等による県内企業の魅力発信
 - ・就職支援協定大学等と連携した就職イベントの開催

<令和7年度実績>

わかやま就職支援センター総利用者数：2,739件
- UIターン就職促進イベントの開催

県内外でのマッチングイベント、大学・専門学校と県内企業の交流会、企業採用力向上セミナーを開催

<令和7年度実績>

県外でのマッチングイベント：参加企業数29社、参加者数31名

大学・専門学校と県内企業の交流会：参加者数56名

企業採用力向上セミナー：参加企業数30社
- 就職関連情報の発信
 - ・和歌山で就職する魅力や県内企業の新卒採用情報をまとめた「UIわかやま就職ガイド」を作成し、県内外の学生に広く情報を提供
- 県内企業への定着支援プロジェクト
 - ・若手社員の定着を支援するために、新規採用者及び若手を指導するメンター社員向けの研修を実施
 - ・保護者や高校教員を対象としたオープンカンパニーを開催

<令和7年度実績>

新入社員向け研修 高卒向け(和歌山市会場・田辺市会場)：受講者数 21名
新入社員向け研修 大卒向け：受講者数 10名
メンター社員向け研修：受講者数 15名
若手社員向け研修：受講者数 19名
オープンカンパニー：参加企業数 12社、参加者数 26名

○マッチング支援

ウェブサイト「はたらコーデわかやま」と全国規模の求人検索サイトとの連携を行い、UIターン就職希望者と県内企業のマッチングを支援

<令和7年度実績>

マッチングサイト掲載求人数：311件（令和8年3月末時点の掲載数）

④わかやま人材確保・育成支援事業（52,047千円）【労働政策課】

魅力ある雇用機会の確保や企業ニーズにあった人材育成、就職促進等の事業を一体的に実施することにより、地域における良質な雇用の実現を図る。

○中小企業の採用ブランド構築支援

企業の個性を生かしたブランディングを行うことにより、県内企業の採用力強化を支援

<令和7年度実績>

キックオフセミナー：1回開催、参加企業数 49社

ワークショップ：2回開催、参加企業数 18社

伴走支援企業数：7社

○リスクリングセミナー

求職者等の論理的思考、問題解決思考、発想力・企画力等を養うためのセミナーを開催

<令和7年度実績>

ビジネススキル基礎研修（求職者向け）：13名

キャリアステップアップ研修（就業者向け）：22名

○マッチング支援

県内で合同企業説明会を開催及び県外で開催される転職フェアへの県内企業の出展を支援

<令和7年度実績>

県内での合同企業説明会：2回開催、参加企業数 99社、参加者数 122名

県外転職フェアへの出展回数：2回（大阪1回、東京1回）

（大阪）

・出展支援企業数：8社

- ・ 出展支援企業のブース着席人数：165名
 - ・ 県ブースの着席人数：49名
- (東京)
- ・ 出展支援企業数：4社
 - ・ 出展支援企業のブース着席人数：102名
 - ・ 県ブースの着席人数：28名

⑤技能向上対策（43, 200千円）【労働政策課】

技能労働者の技能資質及び社会的経済的地位の向上を図るため、職業訓練の振興と技能検定を実施。

⑥産業技術専門学院運営（48, 593千円）【労働政策課】

職業能力開発促進法に基づく公共職業能力開発施設である県立産業技術専門学院において職業に必要な技能や知識の習得を目的に職業訓練を実施。

⑦和歌山戦略経営塾（6, 181千円）【企業振興課】

将来の和歌山県経済を牽引する経営者等の育成を図るため、経済・社会情勢を学び、全国規模の人的ネットワークを形成し、新たにビジネスを展開していく能力を養成する経営塾を開講。

⑧プロ人材活用（64, 182千円）【企業振興課】

県内企業の成長の実現に必要な人材採用を促進するため、「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、企業の中核人材導入を支援。

○プロフェッショナル人材戦略拠点

新事業の実施や販路開拓等積極的な「攻めの経営」への転換を後押しするため、経営課題の把握や必要なプロフェッショナル人材ニーズを明確化し、兼業・副業を含む人材採用のサポート・フォローアップ等により県内中小企業を支援

○成長企業支援補助金

デジタル人材をはじめ、企業の中核となる人材の導入を求めている県内中小企業に対して、有料職業紹介事業者を活用し、人材を採用した場合に発生する紹介手数料の一部を補助

- ・ 対象事業費の一部を補助（補助率：1／2以内）
- ・ 補助する額：最大100万円／社

<令和7年度実績>

交付確定件数：1件

○副業・兼業人材活用促進補助金

初めてプロフェッショナル人材を副業・兼業等常勤雇用とは異なる形態で活用する場合に、当該人材を選定及び活用する際に必要となる有料職業紹介事業者に支払う手数料並びに当該人材に支払う報酬の一部を補助

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：8／10以内）
- ・補助する額：最大45万円／社

<令和7年度実績>

交付確定件数：55件

○副業・兼業人材活用拡大推進補助金

プロフェッショナル人材を副業・兼業等常勤雇用とは異なる形態で活用する場合に、当該人材を選定及び活用する際に必要となる有料職業紹介事業者に支払う手数料の一部を補助

- ・対象事業費の一部を補助（補助率：1／2以内）
- ・補助する額：最大10万円／社

<令和7年度実績>

交付確定件数：4件

⑨きのくにICT教育（ステップアッププログラム）（3,498千円）

【企業振興課】

ICT人材の育成を強化するため、中学校・高校でICT関連の活動に取り組む部活動に対して、ICT関連企業等の専門家を外務指導者として派遣。

<令和7年度実績>

講師派遣校数：15校 延べ119回

⑩伝統工芸品産業振興（2,931千円）【企業振興課】

伝統工芸品産業の振興を図るため、伝統技術・技法の継承や販路開拓及び総合的な情報発信を支援。

<令和7年度実績>

○伝統工芸後継者育成支援事業

- ・後継者を育成する事業者等に対して、対象事業費の一部を補助（定額）
- ・補助する額：上限月額5万円・12か月

交付確定件数：2件（保田紙1名、紀州桐箆笥2名）

○「全国伝統的工芸品祭 第四回銀座名匠市」への出展

期 間：令和8年2月18日～令和8年2月23日

場 所：松屋銀座店

出展事業者数：2者

⑪DX推進（64,900千円）<再掲>【企業振興課】

⑫中小企業団体支援（113,428千円）＜再掲＞【商工振興課】

(5) 資金供給の円滑化

①中小企業融資制度実施（64,340,381千円）【商工振興課】

県内中小企業者の経営の安定化と事業の活性化を図るため、事業活動に必要な資金を金融機関と協調して融資。

○令和7年度の主な改正点

- ・賃上げと投資に取り組む事業者を支援するため、賃上げ目標を含む事業計画を策定・実行する事業者や、プロパー融資と協調した資金調達を行う事業者に対し、特別優遇金利の適用及び信用保証料率を引き下げる「資金繰り安定資金(賃上げ支援枠及び協調支援枠)」を新設
- ・物価高騰等の影響を受ける事業者の支援のため、売上高営業利益率が減少している事業者を「経営支援資金(一般枠)」の対象に拡充するとともに、「小企業応援資金(小口枠及び特小枠)」の資金使途に返済資金を追加

＜令和7年度実績＞

新規融資：3,065件 491億5,582万円

融資残高：18,755件 1,923億349万円

(令和8年3月末現在)

②信用補完制度実施（156,150千円）【商工振興課】

中小企業の金融の円滑化のため、信用保証料の軽減及び代位弁済に係る損失補償を実施。また、経営支援資金新型コロナウイルス感染症対応枠の条件変更に伴う追加保証料を補助し、事業者の返済負担を軽減。

＜令和7年度実績＞

和歌山県経営支援資金新型コロナウイルス感染症対応枠に係る信用保証料補助金
交付確定件数：359件

(6) 知的財産の活用及び産学官連携

知的財産戦略（17,621千円）【成長産業推進課】

中小企業者等の知的財産戦略の意識高揚を図り、高付加価値商品を生み出す技術、デザイン等の知的財産活用、国の研究開発助成等に係る県内企業の提案応募を支援。

○専門人材配置による知的財産活用等支援

- ・新事業支援コーディネーター
- ・科学技術コーディネーター

＜令和7年度実績＞
コーディネーター数：各1名

○知的財産経営戦略支援

知的財産の基礎から実務までをカバーするセミナーの実施及び知的財産への関心を高めるための普及啓発活動の展開

＜令和7年度実績＞
セミナーの開催回数：2回

(7) 国際的視点に立った事業展開の促進【企業振興課】

①国際経済交流支援（3,814千円）

本県経済の国際化を推進するため、県内企業の貿易、投資相談等海外市場進出を支援。

○和歌山国際経済サポートデスク

- ・（公財）わかやま産業振興財団に相談員を配置
- ・日本貿易振興機構（ジェトロ）和歌山貿易情報センターとの連携のもと、ジェトロの有するデータベースやサービスを活用し、貿易アドバイス等を実施
- ・貿易実務講座、海外ビジネスセミナー等の開催及び運営支援

＜令和7年度実績＞
窓口相談：56件

②ジェトロ和歌山貿易情報センター運営（16,000千円）＜再掲＞【企業振興課】

(8) 中小企業者の事業活動の振興に資する企業誘致の促進

①企業立地促進対策助成（516,734千円）【企業立地課】

本県へ新たに進出した誘致企業等に対する優遇措置を実施。

○本県産業の振興及び雇用の安定拡大に資するため、本県に新たに進出する企業と協定を締結し、操業1年後の実績に応じて奨励金を助成

＜令和7年度実績＞
協定締結数：7件

②企業誘致活動（41,908千円）【企業立地課】

企業訪問等の情報収集活動及び本県の企業立地環境を調査、広報を実施。

＜令和7年度実績＞

企業訪問数：908件（うちWEB58件）

③あやの台北部用地開発（4,742千円）【企業立地課】

橋本市、南海電気鉄道株式会社及び県で共同開発する大規模用地（あやの台北部用地）の造成工事等について、事業主体の橋本市を支援。

（9）農商工連携及び6次産業化並びに医療福祉分野等との連携の促進

①わかやま農商工連携ファンド（57,000千円程度※）＜再掲＞【企業振興課】

※わかやま中小企業元気ファンドと一体運用

②DX推進（64,900千円）＜再掲＞【企業振興課】

（10）まちの賑わいにつながる商業振興の促進

商店街振興組合等指導（496千円）【商工振興課】

県中小企業団体中央会が行う商店街振興組合等指導事業を支援。

○県商店街振興組合連合会が行う県内各地における講習会、各種支援策等の周知広報活動、県内商店街に関する現況調査を支援

（11）中小企業者の製品や技術等に関する情報の発信

県広報紙・情報誌（県民の友、和-nagomi-）や県広報番組（きのくに21）等を活用した情報発信。

（12）その他

①事業承継に係る取組の実施【商工振興課】

○県事業承継ネットワーク構成員と連携して、県事業承継・引継ぎ支援センターの周知広報に努め、事業承継に取り組む事業者の掘り起こしを強化

②中小企業の賃上げに向けた価格転嫁対策の強化に向けた取組の実施

【企業振興課】

○県内企業に対して価格転嫁状況等を聴取し、県内の状況を把握するとともに、政府等に対して提言・提案等を通じての価格転嫁が進むよう取組を要請

③下請等中小企業の取引適正化による企業の健全な成長の推進【企業振興課】

○下請等中小企業における取引条件の改善を図るため、経済産業省と連携し、取引実態の把握や商慣行の是正・取引適正化に向けた取組を実施

④わかやま企業応援ナビによる施策の利活用推進【商工企画課】

○県内中小企業が国や県等の支援策、各種相談窓口をより活用しやすくするため、AI機能等新たな機能の追加や検索機能の充実等のリニューアルをしたウェブサイト「わかやま企業応援ナビ」を使用した企業訪問活動を、県内金融機関や関係団体等と連携して実施